



取組

取組の概要



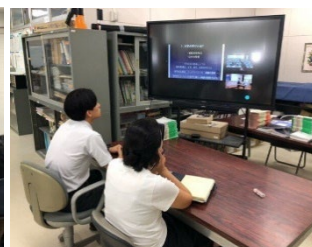
本校では生徒の探究的な学びを重視しており、総合的な探究の時間において「つばくろ探究」と称して、探究的な学びを実践している。数理・データサイエンス・AIを活用して「つばくろ探究」を深化させ、デジタル人材の育成を目指す。

大学との連携によるデジタルの基本スキルの習得

データサイエンス・リテラシーを習得し、探究的な学習の精度を高めることを目的として、新潟県立大学と連携し、データサイエンス・セミナーを実施。

1回目「データサイエンスとは何か」、2回目「データから推測する」という内容で新潟県立大学の先生が本校4年生を対象にセミナーを開催した。

(セミナーを遠隔配信) ➡ 教師の研修の場としても活用



育成する生徒像・取組による効果



本事業を活かし、文系理系を問わない探究的な学びを実践し、新たな価値を創造できる人材を育成する。

デジタル機器の導入による教育活動の加速化

◆デジタル機器やソフトの整備・活用

- 3Dプリンタ、3Dスキャナ、3DCADと、動作環境としてのハイスpekPCを整備
- つばくろ探究や各教科の授業、サイエンス部等の課外活動での生徒の探究的な学びの環境の充実



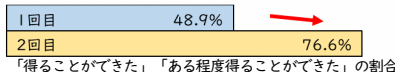
取組の評価と検証による意識の変化を分析 非認知領域の可視化

取組の実施前後で生徒の意識がどのように変容したかをアンケートを実施し分析する。分析内容から今後実施する取組内容を検討するなど実施計画へ反映させていく。

更に問題解決能力を測るテストによる客観評価を取り入れ、非認知領域を可視化することで、生徒の意識・行動を前向きに変容させる。

セミナーのアンケート結果 (令和6年度実施) 測定項目 (令和7年度実施予定)

今回の講義で、探究活動を進めるために必要な知識や技能を得ることができましたか？
(1、2回目共通質問項目)



- ・思考力(批判的・協同的・創造的)
- ・姿勢・態度(レジリエンス・リーダーシップ・コラボレーション)
- ・経験(自己管理・対人関係・計画実行)